

よひんぎんぎョークサロンへ



東京都社会教育会館で。殺風景な会議室が、
たちまち笑いの熱気に包まれる

人生をユーモアたっぷり笑って暮らせば長生きもできるというもの。仕事帰りに笑いのネタを持ち寄ってワイワイ、ガヤガヤ愉快地にやろうと始まった集まり「ジョークサロン」は、定年組や主婦も加わって、ますます盛ん。川柳、どどいつ、ダジャレ…笑いなら何でもOK。仲間と笑いの渦に身を浸せば、「明日からまたがんばろう」と元気がよみがえる。

東京都千代田区にある社会教育会館の会議室。オフィス街のど真ん中にあるこの一室に、毎月第四水曜日の夕刻、笑いのネタを携えてメンバーが集まってくる。メンバーと言っても会員規約などは一切なし、笑いを創り、それを発表したい人なら誰でも参加できる。

会の正式名称は「同楽会（どうそらかい）ジョークサロン」。川柳、コント、ダジャレ、替え歌など色とりどりの作品をくわえて、鳥たちが巢に集う。会のトリかかりは、まず会報「伝笑鳩」の発送作業から。伝書鳩ならぬ「伝笑鳩」は、例会に出席できない遠方の会員に笑いを届ける「伝笑メール」で、郵送分は150部あまり。全員で手つとり早く片づけて、いよいよ作品発表である。

この日集まったのは常連10人にニューフェイスの女性が1人。うら若い女性の参加とあって座は華やいだ雰囲気にも包まれたが、彼女は「今日は笑わせてもらいます」の手ぶら組。作品の発表なしでも大いに歓迎である。

常連メンバーが手書きありワープ口打ちありの自作のコピーを全員に



配布して、朗々と読み上げる。トリドリの自信作を肉声を通して聞く合間にも、スキあらばダジャレを飛ばし、揚げ足をとり、ジョークにはジョークで応酬する賑やかさである。

そもそもこのサロンが始まったのは今から7年前、「ビジネスにユーモアを」と持ち前のジョークで営業成績を上げたライオン商事の元社長、故山下広蔵氏の呼びかけで発足した。会員は40代、50代を中心に企業の管理職やOB、団体職員、主婦など約250人。そのうち例会に集まるのは十数人というところ。例会の会費は男性1000円、女性500円とトリあえず安価に抑えて、この範囲で買いたし係が軽食も用意する。

それでは、常連メンバーの力作を笑介（紹介）しよう。

女の人生論はお手のもの
いろはに託して歌います

い・井戸端会議するわけじゃなし
る・廊下磨くわけじゃなし（ウサギ
小屋だから）は・鼻にかけるわけ
じゃなし（幸い低くてお高くもとま
れない）に・肉料理はそろそろ避
けて ほ・ほん気で長生きしちゃ
おうかなー、なんちゃっ
て！へ・へんなオバサ
ン？と・とんでもな
い！ち・ちよこさいな
り・理屈は抜きでぬ・
ぬるま湯的・日常の反省もせず（気楽
が一番）る・ルンルン気分の日々



辻恭子さん(48歳)
主婦
埼玉県岩槻市

過ぎし お・おかげさまでを忘れない
ようにすれば わ・わりかし か
・かゝんたんに長生きしちやいそう
以上は「のんきなカーサンの人生
論」。初めは作品をもたずに参加して
いたが、「みんなに刺激されて言葉あ
そびを始めたなら面白くて」。

川柳投稿欄の最多掲載王
テレビにも登場しました

定年は時間のボーナスたっぷり
付添いの妻に連れられ趣味の会

これは今年の1月、NHK教育テ
レビの『私の定年戦略』に出て、番
組で紹介された川柳。新聞や雑誌の
川柳の欄に投稿するなど
他流試合に強く、サロ
ンきつての副賞稼いだ。次
は月刊誌『蘇る』の川
柳講座に掲載されたもの。

タレントは台本あつてのグルメ通
替え歌シリーズにも定評がある。

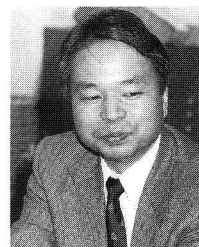


門口泰宣さん(61歳)
電機・通信大手企業のOB
横浜市金沢区

手放すことは辛いけど 仕方がない
んだ 借金のため（星影のワルツ）
ショートショートとよばれる世相
風刺も得意で、2月に週刊読売「玉
手箱」の月間最優秀賞を受賞した。
残り物に不服がある——窓際族

当サロンの幹事兼変集鳥
得意ワザはダジャレです

お金がないのは「ノーマネー」 健
康に良いのは「飲ーまねえ」 酒の
誘いに「飲ーまねえ」と答えること
もあるが、心の中では「ノーマネー」
「小さい時からダジャレ大好き」と
言う会報「伝笑鳩」の変集鳥。変集
鳥と自嘲してはいてもヘンな人では



野本浩一さん(44歳)
大手重機メーカーの
営業課長
横浜市神奈川区

ない。次の一句は変集鳥の実感だ。
今月はバサバサ削りサバサバし
「副賞の図書券がよそより多いのが
魅力」と『蘇る』にも川柳を投稿。
六十の手習い今はパソコンで

ニユースをコントに
即座に料理します

☆宗教法人法見直し・その前に貧乏
神をなんとかしてほしいー不況市民
☆悩み・不良債権ー銀行、不良細君
ー亭主

世事をスパッと切りとってコント
に仕立て上げるセンスは抜群。生ま
れは甲斐の国、住まいは千葉・幕張



石井志津夫さん(56歳)
エレクトロニクス関連
企業の教育部長
千葉市花見川区

メッセのお膝元にあることから、自
己笑介は「メッセ貝でっせ」。
☆晩酌・妻「今夜はどうして二本も
飲むの」夫「一本調子と言われたん
でね。カラオケで」は自画像かも。

釀 句大学の名物教授
結婚交座をもっています

☆最近の新婚旅行

新婚旅行ー全身異常ありませんでし
た 審婚旅行ーいろいろ過去を調べ
られました 寝婚旅行ーずっとベッ
ドの上でした 娠婚旅行ー赤ちゃん
ができました

男女の気持ちが変わる講座、すな



山本勝美さん(53歳)
インキ会社の部長
埼玉県上福岡市

われ結婚交座がオハコ。今日寿（教
授）を自認するココロは「ジョーク
で今日もハッピー」。そこで一句。
結婚後呼び名が変わる亭主の名
「あなた」がいつしか「お父さん」。

タワゴトロジーの旗手 しよせんはたわごとです

☆羽生七冠王達成・さすがにハーブだ。香草（構想）が良い。

☆土井議長、（新進党の）座り込みに解除勧告・「さあ、土井だ、土井だ」☆駒ヶ岳噴火・どさんこ灰が降りました

タワゴトロジーなる笑

文芸のジャンルを開拓、日々のニュースをネタに湯水のようにたわごとが溢れでる。30余年のサラリーマン生活から生まれる川柳には、共感を呼ぶ秀作も。



奥村篤史さん(55歳)
銀座のレストランの支配人
東京都小平市

再生紙使い社員は使い捨て
初夢はリスとトラとが肩叩く
プランだけたくさんできた定年後
ボケ防止入った会はボケ同士
最新作ではPL法（製造物責任法）
によせて、親の哀感を詠んだ。
PL法以来叱れぬ子の不出来

得意の「名句換笑」は 俳句の素養あればこそ

☆名句換笑・夏の部（元句）荒海

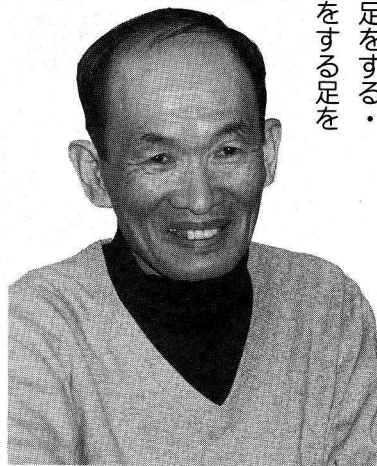
や佐渡に横たふ天の川・はせを↓新
梅やビンに横たふ白リカー（元句）
やれ打つな蠅が手をする足をする・
一茶↓やれ打つな監督手をする足を
する ☆名句換笑・秋の

部（元句）がつくりと

抜け初る歯や秋の風・杉

風↓がつくりとぬけ初る
歯と毛が競い（元句）

名月を取ってくれりと泣
く子かな・一茶↓来月は



印南博之さん(58歳)
大学院の講師
千葉県市川市

取ってくれりと新聞屋

元句をひとひねりして一句に仕上
げる名句換笑のもじり精神は、旅先
でも健在。出張でフランスに行つて
詠んだこんな川柳もある。マドモア
ゼル長いあんよでまどわせる

コミックどいつで

世相にするどく迫ります

献金ルートに感染ルート隠す自民と
厚生省
赤は危険でミドリも危険不安な黄色
に青い顔

コミックどいつ一筋に精進、フ
ァイルしてある自作を読み返せば、
その時々事件がくつきりと浮かび

ほのぼのオジサンが描く ほのぼのマンガです

「伝笑鳩」の表紙とカットの絵を一
手に引き受けている。言葉あそびに
興じる仲間をニコニコと眺めるほの
ぼのオジサンが、珍しく川柳をつく
り、それが横浜国際観光協会発行の
「横浜のたより」に掲載された。
横浜は素通りできん港町

ネタはサラリーマン社会 「狂歌NEW門」中です

イチローと比較をすれば年は倍年俸
むなし割いかず

4月から息子進学私立高心配で見る
給与明細

サラリーマン社会に題材を求めて
狂歌と並行してつくっている「サラ
リーマンことわざ笑辞典」も好調。

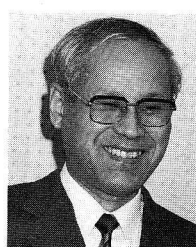
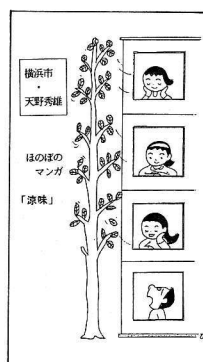


曾田英夫さん(47歳)
損保会社の管理課長
埼玉県所沢市

落花枝にかえらず↓シュレッター元
にかえらず 律儀者の子だくさん↓
律儀者のコピーたくさん 孟母三遷
↓チヨンボ左遷
なるほど。実感がこもっている。



天野秀雄さん(60歳)
アマチュア漫画家
横浜市磯子区



高木正明さん(58歳)
設計会社の専門課長
埼玉県与野市

上がる。平成世相歌と言ってよい。
春場所を詠める歌。春の曙休んで
酔ってシコを踏まずにドジを踏む
最新作。ステーキ大好きイギリス人
も狂牛病ではモウCOWまい

伝笑鳩

「伝笑鳩」を

全国に飛ばしています

ジョークを全国各地に送り届ける会報「伝笑鳩」は、この5月で79号を数えるまでになった。変集鳥の野本さんのメッセージは「今月も伝笑鳩で笑々楽しんでください」。紙面には各地からのジョークあふれる便りが満載。その一部を紹介しよう。思わずクスリの傑作ぞろいだ。

横浜市の西森和枝さんからは「春の語らい」と題するこんな小喃が寄せられた。

目の前で焼いて食べさせるステーキハウスにて（ステキ）彼「酪農

って自然が相手に健康的な仕事に見えるけど、現実は大変らしいよ」

私「それじゃ、ラクノウではなくてクノウ（苦悩）だね」彼「それ

に食用肉は内臓をとると肉になる部

分が少ないそうだ」私「だから、ナイゾーって言うのよ」

小喃をもうひとつ。茨城県つくば市の加藤栄一さんの「つくばこばな

し」をどうぞ。

☆日本に輸入されているエビの多くはタイ国で養殖されている。つまり「タイでエビを釣っている」

作品を送ってくれる読者にも常連がいて、東京都目黒区の亀山光昭さんもそのひとり。「世相一笑」と題し

て、☆若貴決戦実現「どっちが勝ったかワカタカ」

言葉あそびは無限に続く

「世の中は澄むと濁るで大違い」と題して、「刷毛（はけ）に毛があり、禿（はげ）に毛がない」「福（ふく）に徳（とく）あり、河豚（ふぐ）に毒（どく）あり」と送ってくれたのは、東京都八王子市のひらいたかおさん。

「当世とりかえや物語」を定期的に送ってくれるのは神奈川県の前田誠さん。ひとつ二つ紹介すると、「妻をめとらば埼玉県（才長けて）」（確かにあいつは愛妻家には違いないが、何かと言えば、自分の生まれた埼玉の女はいいぞ、とくるからやりきれない）「産もう布団」（羽毛布団が特に産婦人科で使われているという噂、誰か聞いたことありません？）

そして、極めつけはこれ。「冗句沙論 楽詩句呼真世手位田情来真下」という珍文漢文（ちんぶんかんぷん）を寄せたのは吉典典生さん。「ジョークサロン たのしくよませていただきました」という礼状なのだった。

継続は楽しみなり

「読者からのジョークにウーンと唸ることもしばしば。毎月楽しませてもらっているのはボクのほうかも」

と言うのは変集鳥の野本浩一さん。「伝笑鳩」の記事の構成、ワープロ入力、すべて彼のボランティアである。休日2日、編集作業にあててる。

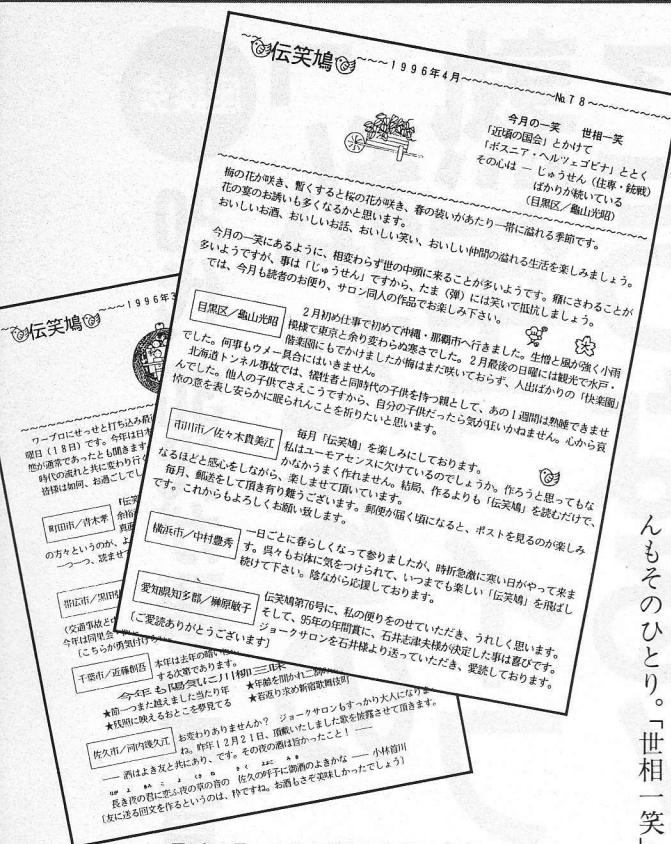
現在、300部を印刷しているが、制作費は1万円以下。この額なら例会の会費からねん出できる。「できるだけ安く、がモットー。あまり欲ばらず、無理せずにやってきたのが、ここまで続いた秘訣」と話す。

改めて解説するまでもなく、「同巢会ジョークサロン」がめざすのは、さわやかジョーク。色っぽいネタもほどよく取り込んで、あたたいユ一モアに仕立て上げる。だから、ブラック・ユーモアはなじまない。

「電車の中吊り広告を見てもジョークのヒントになる。ジョークを作るのは頭の運動、二次会では肝臓の運動もします」と言うのは、幹事役の石井志津夫さんだ。

「笑うことは元気のもと。ジョークサロンでさんざんバカを言い合って、これでまた明日から元気に暮らせる、と散会します」と野本さん。

今から「伝笑鳩」の読者になりたいという人は、次の所で受け付けている。〒221 横浜市中区大野町1-7-1205 野本浩一 気付「同巢会ジョークサロン」宛。郵送料として、1年分・80円切手を15枚同封のこと。（余部3枚はカンパ）



最近1月ごとに用紙のカラーを変えて、色っぽくなった